

令和6年度予算の概要について

1. 予算規模

令和6年度一般会計当初予算額 (令和5年度一般会計当初予算額)	10,680,800千円 (13,670,200千円)	対前年度との比較	△2,989,400千円 (21.9%の減)
------------------------------------	--------------------------------	----------	---------------------------

2. 予算概要

令和6年度予算は、「ストップ人口減少！笑顔あふれる未来のために—新たな時代を切り拓く予算」として編成し、入善町の新時代を切り拓き、夢と笑顔あふれる未来を次の世代へと着実に引き継いでいくため、引き続き、ハード・ソフト両面から実効性のある事業を積極的に盛り込んだ。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類へ引き下げられるなど、時代は、大きな転換期を迎えており、本町においても、役場新庁舎が開庁する節目の年となる。こうした変化を、さらなる発展と飛躍の大きなチャンスと捉え、「ストップ人口減少」の実現はもとより、物価高への対応をはじめ、DX、脱炭素、安心・安全なまちづくりの推進など、様々な行政課題に積極果敢に挑戦し、総合計画が描く将来像「扇状地に夢と笑顔があふれるまち入善」に向かって、着実に前進していくことができるよう、健全財政の堅持に努めながら、町の将来を見据え、施策の選択と集中を図った。

一般会計当初予算額の規模は、役場新庁舎整備などの大型ハード事業が完了することから、令和5年度と比較して21.9%の減となった。

<主な事業について>

- 結婚活動支援事業「それ行け！結婚プロジェクト」(13,618千円)
- 保育料軽減事業(給食費無償化を含む)(156,367千円)
- 児童手当支給事業(277,545千円)
- 保育所ICT環境整備事業(23,171千円)
- 小中学校進級祝い金支給事業(10,700千円)
- 高等学校等就学支援事業(14,208千円)
- 企業立地推進事業(107,000千円)
- 安心移住プロジェクト(空き家バンクを含む)(36,303千円)
- 公共交通運輸対策事業(78,374千円)
- 西入善駅環境整備事業(85,788千円)
- 幹線道路改良舗装事業(55,000千円)
- 踏切改良事業(100,000千円)
- 入善漁港海岸離岸堤整備事業(12,000千円)
- 申請書記入サポートシステム導入事業(6,509千円)
- 総合計画後期基本計画策定事業(2,490千円) 等

<切れ目のない予算「13ヵ月予算」の編成>

国の令和5年度補正予算などを受け、令和6年度以降に計画していた一部の事業を令和5年度3月補正予算に前倒し計上し、令和6年度予算と一体的な編成を行い、事業の着実な推進と有利な財源の確保に努めた。

◇令和5年度3月補正で計上を予定している主な事業

- 県営土地改良事業(8,800千円)
- 橋梁長寿命化事業(19,817千円)
- 幹線道路改良舗装事業(51,000千円)
- 無雪害街づくり整備事業(55,600千円) 等

[前倒し分]143,173千円+[令和6年度当初予算額]10,680,800千円=10,823,973千円(前年度比△20.8%)

<歳入について>

- ・町税は、固定資産税について、洋上風力発電設備等の大型投資による償却資産の増収の一方、評価替えに伴う既存家屋の減価などの影響で、ほぼ横ばいを見込むものの、個人町民税について納税義務者数の減少や定額減税の影響による減収、法人町民税についても原材料の高騰等の影響で減収となる見込みから、町税全体で対前年度比4.2%減の3,196,510千円とした。
- ・町税の次に大きな割合を占める地方交付税と実質交付税である臨時財政対策債を合わせた額は地方財政計画等から、対前年度比2.9%増(+80,000千円)の2,840,000千円を見込んだ。
- ・財源不足を補うための財源調整や町債の償還財源とするため、財政調整基金と減債基金からの繰入金については、対前年度比3.1%増(+36,000千円)の1,199,000千円を計上した。

<経常経費について>

- ・一般職の職員給与費については、全会計の職員数が250人(対前年度比△1)となったが、人勸による給与費引上げの影響により、令和5年度と比較して4.6%の増(+53,438千円)となった。

《最重要課題「ストップ人口減少」の3つの柱》

3つの柱で「ストップ人口減少」の実現と幸せの実感へ

◆施策の柱Ⅰ「子どもを産み育てやすい環境づくりによる出生数の増」

結婚活動支援、不妊治療費助成、子育て世代包括支援センター、子宝支援金、保育料の軽減(第1子4分の1軽減、第2子半額、第3子無償、3歳以上児無償、副食費無償等)、すくすくおむつサポート事業、学童保育、放課後児童家庭保育応援券支給事業、幼児・児童・高校生等医療費助成、小中学校進級祝い金支給、高等学校等就学支援事業など

◆施策の柱Ⅱ「健康寿命の延伸による人口の自然減の抑制」

減塩いいね!プロジェクト、こころ晴ればれプロジェクト、健康ポイント事業、介護・フレイル・認知症予防事業、介護人材確保事業、保健事業・介護予防一体的事業、特定健診事業、がん検診事業、感染症予防事業 など

◆施策の柱Ⅲ「Iターン・Uターンの促進と地域活性化による転入増、社会増の促進」

安心移住プロジェクト、地域おこし協力隊事業、移住体験住宅運営事業、まちなか新店舗等立地応援事業、町内企業設備投資促進支援事業、サテライトオフィス誘致推進事業、中小企業融資信用保証料助成 など

3. 特別会計

会計名	R6年度予算	R5年度予算	比較増減	増減率
国民健康保険	2,308,900	2,317,900	△9,000	△0.4%
育英奨学資金	6,100	7,300	△1,200	△16.4%
後期高齢者医療	812,500	799,300	13,200	1.7%
特別会計 合計	3,127,500	3,124,500	3,000	0.1%
一般会計を含む合計	13,808,300	16,794,700	△2,986,400	△17.8%
簡易水道事業	90,300	—	—	—
下水道事業	2,221,150	—	—	—

※簡易水道特別会計、下水道特別会計の公営企業会計への移行により、前年度比較できないため、比較増減なしとした